

氏名	上山 さゆみ
学位の種類	修士(看護学)
学位記番号	修士 第108号
学位授与年月日	平成20年9月3日
学位論文題目	泌尿器科病棟看護師の排尿ケアにおける患者への 配慮に関する質的研究

## 論文内容要旨

※整理番号	112	(ふりがな) 氏名	(うえやまさゆみ) 上山さゆみ
修士論文題目	泌尿器科病棟看護師の排尿ケアにおける患者への配慮に関する質的研究		
<p><b>【研究目的】</b> 泌尿器科病棟看護師の排尿ケアにおける患者への配慮を明確化する。</p> <p><b>【研究方法】</b> 研究デザインは、質的帰納的研究で、半構成的質問紙を用いた個人面接法。対象者は泌尿器科病棟で患者の排尿ケアを実施した看護師6名とする。分析は、データから逐語録を作成後ラベルにし、さらに分類整理して、その意味をカテゴリー化した。</p> <p><b>【研究結果】</b> 泌尿器科病棟看護師の排尿ケアにおける患者への配慮は、[下位カテゴリー]、《中位カテゴリー》、【上位カテゴリー】と抽象化し、カテゴリー間の関連性を図式化した。得られたラベルは252であり、31の下位カテゴリー、12の中位カテゴリー、5つの上位カテゴリーを抽出した。《羞恥心に対する気遣い》、《プライバシーの保護》、《自尊心を守る》から、【人としての尊厳を守る】が抽出され、《心が落ち着くようにする》から、【安寧に過ごす】が抽出された。また、《遠慮しないように患者の気持ちを考える》から、【気兼ねしない】が抽出された。そして、《不快を与えない技に心がける》、《病床環境を整える》、《同室者に不快を与えない》から【快く過ごす】が抽出された。さらに、《排尿状況の変化により、ダメージを受けた患者に必要な支援》、《退院に向けた排尿管理の指導》、《個々の患者への説明や援助》、《安全を図る》から、【排尿障害の状況に適した援助技術への気遣い】が抽出された。</p> <p><b>【考察】</b> 泌尿器科病棟看護師の排尿ケアにおける患者への配慮では、《心が落ち着くように》、【安寧に過ごす】配慮をし、排尿ケア時に患者が《遠慮をしないように患者の気持ちを考え》、【気兼ねしない】配慮を行っていた。また、快適に過ごせるように《病床環境を整え》、《技に心がけ》、【快く過ごす】配慮を行いながら患者を理解し、【人としての尊厳を守る】配慮をしていたと考える。さらに、泌尿器科病棟では、尿失禁、自己導尿、ウロストーマなどの《排尿状況の変化により、ダメージを受けた患者に必要な支援》を行い、個々の泌尿器科患者に【排尿障害の状況に適した援助技術への気遣い】をしていた。それぞれのカテゴリーにおける配慮に関連があり、日々の排尿ケアを実施していると考え。特に面接対象者は中堅看護師であり、必要な援助技術を適切に判断し、熟練した技術に加えて【人としての尊厳を守る】配慮を意識して実践していたと考える。また、患者と対応する際に[具体的な説明]し、[言動を統一]し、[緊急時の話し方]、[タッチングや安心できる声かけ]などの下位カテゴリーでの気遣いが影響し関連しながら、配慮のある排尿ケアを実施していると考え。</p> <p><b>【総括】</b> 泌尿器科病棟看護師は、抽出された上記5つの配慮を行いながら、排尿ケアを実践していることが明らかになった。排尿ケアに関わる看護職は、泌尿器科の中堅看護師の面接から抽出された排尿ケアに関する配慮を十分理解した上でケアする必要がある。</p>			

(備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200字程度)

2. ※印の欄には記入しないこと。